



Lions Clubs International 330-A

LIONS NEWS

2019.8 vol.1

第102回 ミラノ国際大会レポート



■第102回ライオンズクラブ国際大会（イタリア・ミラノ）が7月5日（金）開幕し、7月6日（土）午前9時より恒例のインターナショナルパレードが開催された。

日本パレードチームは全体のほぼ中間でスタートし強い日差しにもめげずに揃いの法被のユニフォーム姿を沿道の観衆にアピールした。今回のパレードは地元イタリアの関係者の尽力により国際都市ミラノで考えられる最高のコースを提供され、ヨーロッパの観光シーズンで賑わう世界中よりの観光客また地元観衆に対して大いにライオンズクラブのパフォーマンスをアピールし成功裏に終了した。



■第102回ライオンズクラブ国際大会開会式（大会初日総会）が7月7日（日）イタリア・ミラノ・コンベンションセンター（Mico）で開催された。

国際大会委員会のご尽力により、会場内の良席確保と「330-A」のフラッグが会場内で「我が330-A地区此処に有り」と言わんばかりの存在感を醸し出していたのが印象的だった。

オープニングパフォーマンスの後、歴代国際会長の登壇とグドラン・イングバドター国際会長による年次報告が行われた。国際平和ポスター・コンテスト大賞受賞者の紹介 2019-2020年度国際第3副会長候補者サリム・ムッサン（レバノン・ベイルート）、パティ・ヒル（カナダ・エドモントン）による選挙演説などが行われた。

■開会式を無事に終えた同日18時30分より、「SALA LIBERTY」にて「ガバナーと

ガバナー・エレクトを囲む会」を出席者200名に迫る多くの方々が出席し開催された。アトラクションはピアノとソプラノ&バリトン歌手の情熱的な歌声と演技で皆を魅了するものであり、酔いしれたひと時を過ごした。

■7月8日（月）19時より、イタリア・ミラノ市内のイタリアンレストラン La Tradizionale において伊賀保夫がガバナー就任前夜祭を開催した。総勢106名の皆様にご参加いただき会場はほぼ満席、パーティーの間バックミュージックとしてキーボード演奏者による歌と演奏の披露などパーティーは盛会のうちに終了した。

■7月9日（火）午前10時から、ミラノ国際大会を締めくくる最終日総会（閉会式）が開かれた。

世界のライオンズメンバーが会場に集結し、2019-2020年度の新執行部の誕生を見守った。国際会長就任宣誓式後に新国際会長にジュンヨル・チョイ新国際会長（韓国・釜山）が就任した。

2019-2021年国際理事に、日本の川島正行（元333-E地区ガバナー：茨城県・土浦北LC）と渡部雅文（元336複合地区ガバナー協議会議長：岡山県・倉敷西LC）が就任した。

国際第3副会長には、パティ・ヒル（カナダ・エドモントン）が当選した。

また、アフリカに新しい会則地域を設ける案が可決された。

我が330-A地区には、今井文彦 DG から伊賀保夫 DGEの胸元にある「ELECT」と記載された青リボンを外し、42歳の伊賀保夫 DG が誕生し、出席者全員で祝福した。新ガバナーチームと幹事団の1年が楽しみである。



ガバナーインタビュー

2019年7月17日(水) 於:東京プリンスホテル 聞き手:L大類、L荒牧



L大類: 本日はお忙しい中ありがとうございます。今期のテーマ「先人が作り上げてきた良き日本のライオンズクラブの伝統・歴史を次世代に繋ぐ」を中心にガバナーの思いをお聞かせ頂ければと思います。

1. 伊賀ガバナーのライオンズに対する思い、日本のライオンズの良さをご披露願います。一伊賀ガバナーがLCに入会后、ガバナーになろうと覚悟を決めたのはいつ頃ですか？伊賀ガバナー: 入会した時からガバナー(以下G)、その先を目指していました。ライオンズクラブ(以下LC)へ入会して1か月後にミネアポリスの国際大会に参加して、世界的な奉仕団体の情熱・大きなスケールにインパクトを受け、国際的なLCで活躍していこうと思いました。入会5期目に差し掛かって東京ビースLCを立ち上げることにになり、その後、塩月幹事団副幹事、ゾーン・チェアパーソン、委員長という役割を拝命していくなかで、自身の思いを実現したり、何かを変えていくには「自分がガバナーにならないと」と覚悟を決めました。

L大類: 当初はガバナーがどんなことをするのか、ほぼ分からないと思いますが、役割を垣間見、意識を高めるきっかけがあったのでしょうか。

伊賀G: そのころ山浦Lの国際理事支援会に参加する機会を頂き、その過程を体験して意識を高めることができました。

一日本のライオンズの良き伝統とは、何だと思えますか？次世代に繋ぐ大切なことは？

伊賀G: この10年の間、日本中のメンバーと関わりました。どこへ行っても奉仕(We Serve)をベースとして、「先輩後輩といった時間という縦軸」と「地域社会という横軸」の中で「共通のLCスピリットを感じられるところ」が**日本のLCの良さ**だと思います。

次世代に繋ぐ大切なことは、67年の伝統の中で共通のもの、ベースとなる**奉仕の軸**を大切にしてきたことだと思います。「We Serve」の軸を大切にしながら柔軟に時代の流れに合わせて変化していくことが重要だと思います。

L大類: 歴代ガバナーでは年齢的に若く、特に期待されていることは何だと思えますか。**伊賀G:** 若者ですが、父が古くからのメンバーで昔のLCの良さも見えました。また新しい世代のクラブ運営も経験しています。これらを自分の中に落とし込んで、キャリアを積んだ世代とこれから入会の若い世代との**ギャップ**を埋め融合し、LC精神を繋いでいくことだと思っています。

L荒牧: 変化や変革でなく伝統歴史にフォーカスしたスローガンにしたのは何故でしょうか。

伊賀G: LCメンバーの平均年齢は高めます。LC活動に関わって人生が輝いている皆さまを大切にしたいと思っています。時代が変わったから一気に変わるのではなく、どの世代にとっても魅力的なLCにするには、**少しずつの変化とその成果が求められる**のではと思っています。LCで受講した研修では結果でなくプロセスが大切だと言われますが、あえて私は結果、成果物にも今期はこだわりたいですね。

L荒牧: 成長著しいアジアの国々とは違って、日本はメンバー数や勢い、人口が減少傾向です。どういう活動を特別にしていこうとお考えでしょうか。

伊賀G: 新しいメンバーへLCの良さを伝えるために自分たちの「個の満足」だけでなく皆で「組織の全体を大切に」していくという共通の考えを持ち、活動の「社会へ

のインパクト」を大きくする必要があると思います。例えば、単一クラブでアクティビティ、例会を行うより、地域やテーマで集まり結束すると今まで以上にインパクトを与えることが出来る、大きな活動に関わり「自分の満足度」を高めて、各々の意識改革に繋げていきたいです。

一国際大会のホットな情報として、今期国際会長・協会の進む方向性をご披露ください。

伊賀G: 今期のチョイ国際会長のテーマは、大きく分けて4つです。

①「We Serve through Diversity (多様性)」です。お互いの様々な違いを受け入れて、みんなで大きな目的を果たしていこうという意味だと思います。このDiversityというテーマが加わり、国際協会が柔軟に対応してきています。

②Servant Leadership Style を掲げました。リーダーがみんなを引っ張っていく手法だけでなく、主体はメンバーの皆さまで、国際会長はその皆さまを支えていくということを明言しています。

③スペシャリティクラブを推進しています。地域から掘り起こすだけでなく、趣味や共通の団体(スポーツ・文化)という違った観点で立ち上げるクラブです。

④キャンペーン100(ワンハンドレッド)です。奉仕には労力奉仕と金銭奉仕がありますが、金銭奉仕についてはメルビン・ジョーンズ・フェロー1,000ドル献金が主体でした。しかしこのキャンペーンは、皆さまの負担を小さくして大きな成果を上げていこうというものです。

東京330-A地区は昨年20%のクラブがキャンペーン100に参加。少しずつ成果が上がっています。今期はこの国際会長のテーマに沿って倍増したいと思っています。

https://www.lions-news.com/pdf/2018-2019_lions_news_vol3.pdf
(詳細は、2018.vol.3.の特集～1項に掲載)

L大類: 今期の第三副会長の選挙を勝ち抜いたのは女性でしたね。

伊賀G: そうです。ミラノ国際大会でもパティ・ヒルさん(カナダ・エドモントン)の応援が盛り上がっていました。しかし、会員が増加傾向のアジアやアフリカ地区からも国際会長が定期的に出た方が多様性・活性化等で良いと思います。日本は国際大会や国際協会へのかかわり、意識が向いていないことが多く、なぜそうなか考えていかなければならないと思います。

2. 330-A地区がより飛躍するための、秘策について伺います。

一9月G公式訪問で伝えたいこと、メンバーの意識など変化させたいことはありますか。

伊賀G: 大きく分けて、3つあります。

1つ目は、前期の申し送り事項を確実に引き継いでいきたいと思っています。一番大事なのは「継続性」であるということをお伝えしたいです。第1、第2副地区ガバナーの意見を聞き統一見解で物事を進めていければと思います。プロセスの段階から三者(ガバナーチーム)で協議することで地区に継続性が生まれます。

少しずつ変化することが良いと思います。

2つ目は、会員増強です。いままでの「Ask One」というスタイル、「一人が一人を誘う」これだけではメンバーは増えません。しっかり「退会防止」をする必要があります。そのためにはメンバーの満足度を高め、年会費や例会スタイルを見直す必要があります。アクティビティの運営でも海外のように市民の小さな協力を集めて大きな成果を上げていくことで、LCに対する興味も増えるのではないかと思います。LCへの入会にはスポンサーからの紹介というシステムを持っているので、メンバーの「身近な人に対するPR」が重要で力を入れていきたいと思っています。3つ目は、先ほども出ましたが「キャンペーン100」をしっかりとっていききたいです。

一各クラブの既存アクティビティを支援する具体的施策をご案内ください。

伊賀G: 村木G期にアクティビティ活性化委員会の委員長を経験しました。お互いのクラブを知ることが重要だと思い、全クラブのアクティビティをデータベース化しました。今期はマーケティング・コミュニケーション IT(以下MCIT)委員会とクラブサクセス委員会双方で協力して、メンバー・クラブが新規や類似したテーマのアクティビティを開催する時に、参考になる情報ツールを作り上げていきたいと思っています。また、自クラブでやってきたアクティビティを、同じ思いを持った他のクラブやメンバーと一緒にやることでより大きな成果につながる、いわゆる「**団結の力**」で地域へのインパクトを高める活動を行っていききたいです。今までのようにガバナーが変わるとアクティビティが変わるのではなく、テーマへの思い



が強いメンバーを中心としてプロジェクトチームを作り、社会へインパクトの大きいアクティビティをやっていきたくと思っています。

L荒牧: 関心のある方がクラブの枠を超えて活発化していくということですね。

前期にアクティビティカードが発行されましたが、あの活動は継続されるのですか。

伊賀G: はい。今期はアクティビティカードと青年アカデミー委員会が作成した例会訪問カードを合体させて携帯に便利な「名刺サイズ」にして継続したいと思います。

3. 外部への発信について、何を優先すると効果があると思いますか。

一LC活動から一般の方々へ大きなインパクトを与えられることは何でしょうか。

伊賀G: 一番大事なのは今の社会が何を必要としているのか。必要としていることをやらないとインパクトにつながらない。例えば、子どもの貧困の情報をキャッチしたならLCが率先して動くこと、そして奉仕を受ける方々の反応(顔)が見えることが、大事です。それらはメンバー自身の社会に役立っているというモチベーション、感動につながります。またアクティビティを継続できるようにして、目的や方向性が近い複数のクラブが団結すると大きなインパクトを与えていくことができると思います。

L荒牧: クラウドファンディングなどが進んでいるなかで、LCは伝統と格式がありすぎて小回りが利かないと世間の人に思われている場合もあります。LCは組織が大きすぎるというデメリットもあり、一方で世界的組織というスケールのメリットもあります。

他のNPOにないアプローチをどのようにお考えでしょうか。

伊賀G: LCは世界の情報がいち早く入るとともに、多くのクラブには伝統・継続という信頼感があります。同じLCでも新しいクラブは今のNPOの活動と同じようなことをやっています。昨年度、私が所属している東京ビースLCはクラウドファンディング利用して事業を実施しました。LCブランドを利用して斬新なアプローチでの運営等は、若い世代のクラブや支部が行っていけばよいと思います。

一外部への情報発信を何から始めますか、その効果を確かめる方法はありませんか。

伊賀G: まず、地区のホームページ(以下HP)を一般向けに分かり易くすることが大事です。一般の皆さまから見たらLCはひとつ、メンバーから見るとLCは全国で約3,000、東京地区で約200です。そこで、今期は一般向けに「ひとつのLC」に見えるようHPを作り変えたいと考えています。また、リアルタイムの活動状況の発信でSNSの活用が重要だと思います。特にFacebook(以下FB)とInstagram(以下インスタ)に注目しています。FBは知り合い(身近な友人)に伝えていくもので、インスタは#(ハッシュタグ)を拾って検索し見に行くので、興味を持ったキーワードからLC活動を見つけるのに役立ちます。

L大類: FB、インスタの運用方法はありますか？

伊賀G: LCが公式的に発信するものと個人が発信するものとに分類できます。まずは身近な幹事団がキャビネットの活動などを、次にMCIT委員会が取材状況などを発信。そのうちクラブや委員会の皆さまが発信するようになれば「ひとつの発信」が何万人への情報発信となると思います。効果の確認は、いいね、シェア、コメント投稿数や閲覧数などの数字で判断できるとしています。

L荒牧: 世界でSNSの活用事例はありますか。

伊賀G: アメリカのLCはFBを上手く使って発信していると思います。インスタも含めこれからも研究していきたくと思っています。

L大類: ホームページの効果測定はどのようにすればいいと思いますか。

伊賀G: FBやインスタからHPへ誘導していく仕組みがあっても良いと思います。HPは検索しないと見に来られないので、まずはしっかり作っていくことが大事です。国際協会のHPも見難いので、委員の皆さまに特に必要な情報などはダイレクトにリンクを貼るなど工夫していきたくいです。

L荒牧: 本当に重要なところはメール配信を使ったプッシュ型がいいと思うので進めて頂ければと思います。

伊賀G: 情報取り扱い等も研究して進めていきたくと思っています。

一元議員というキャリアから行政、他団体との連携等、効果的な策があればご披露ください。

伊賀G: 今期、立ち上げるプロジェクトは全て行政のバックアップを得ています。国、東京都、市区町村の後援等があることでアクティビティの信頼度を上げることが出来ます。LCは、ニー



ズに合った活動をしなければならないですが、当然、行政がその情報を持っている場合が多く、その力を借りて一緒に行くことも大事です。メンバーは地域と行政に関わっている方が数多くいらっしゃると思います。そういったメンバーには地域行政とLCとの橋渡しをしてもらい、一緒に事業のインパクトを高めていければと思います。

4. 結びに、これから1年間の意気込みと大切にしたいことをお話しください。

一「変化しながら繋いでいく」中で重要だと考えていることは何ですか。

伊賀G: この年齢でガバナーをやらせていただくことの意味を自分なりに考えて期待に込めていきたい。「まずは、誰よりも動く！」そのためにはまず見える形で伝えていくことが大事だと思います。急な改革は難しく、毎日小さな変化を積み重ねていって、1年を通して結果的に大きく変わっていったということが良いと思います。特に女性・若いメンバーを積極的に起用し、思いがある人を抜擢していきます。そして、「令和」という新しい時代になって変化を起こすにはいいチャンスです。国際会長のテーマである「ダイバーシティ」を上手に活用し、まずは「お互いを受け入れていこう」ということを伝えていきたいです。

そして、熱意があるメンバーが積極的に動けるようにします。伝統を大切にしないで好き勝手やったらそれはもうLCではないので、先輩ライオンから学ぶ機会を増やし、思いを語っていただき、新しいメンバーがLCを好きになる機会を増やしていきたいですね。培ってきたベース、「奉仕の縦横の軸」を理解してきた上で今の時代に合った柔軟な思考・対応を大切に、「L字の誇り」を「大事に思うメンバーが増えていけば」いいと思います。

L荒牧: 響を繋ぐについて少し教えてください。

伊賀G: 継続性、今までの人の思いをしっかりと受け継いだ上での新しい変化。これがLCには必要。それが無ければ他のNPOと変わらなくなってしまう。この「L字の誇りや意識を高く」持っていたい。これを「響」という言葉に込めました。

後のバズセッション・・・

L赤尾: 先輩方が社会(すずらん給食・白い杖等)を変えたように、主体的な立場で社会を変えていきたいということですね。Gからの情報発信としてガバナーの一日というタグを作って前日の訪問先や来訪者との打ち合わせの内容などを発信してはいかがでしょうか。

伊賀G: 良いアイデアです、早速やっていきたいですね。

L桂: 国際組織であるということを知らしめるために、発信を英語と併記にしてほしいです。

伊賀G: 英語表記に挑戦してみます。

吉岡委員長: 響について、日本人の美徳的なもの？韋駄天の人見絹枝さんの銀メダルが日本女子スポーツの始まり。それを手渡していく。LCIFの献上の美徳も日本的な襷利レー。伊賀Gは若く、ビジュアルが良いので発信力の強い330-Aのリーダーとして自信を持って意識して欲しい。

オンタイム文章打ち込み:桂L
ビデオ確認文章修正構成:赤尾L
写真編集:吉岡L



 地区ガバナー LCIF 地区コーディネーター L 伊賀 保夫 東京ピース LC	 ライオンズクラブ代表国連 建物担当大使・元国際理事 L 山浦 晟輝 東京新宿 LC	 元国際理事会ポインティ L 中野了 東京渋谷 LC	 LCIFメンバー (00) エリアリーダー L 菅原 雅雄 東京堀留 LC	 LCIF エリアリーダー (東日本) 第66回年次大会委員会委員長 L 山浦 晟輝 東京渋谷 LC	 GMT30 複合地区コーディネーター L 石井 征二 東京八王子陸東 LC	 FWT チーフ GMT全副幹事・2017年委員会委員長 L 小川 晶子 東京ウィル LC	 LCIF30 複合地区コーディネーター L 阿久津 隆文 東京赤坂 LC	 前地区ガバナー・名誉顧問会議長 L 今井 文彦 東京東横 LC	 第1 副地区ガバナー 短期ビジョン委員会委員長 L 進藤 義夫 東京世田谷 LC	 第2 副地区ガバナー L 中井 正力 東京新宿 LC	 キャビネット幹事 L 上野 繁幸 東京江戸川 LC	 キャビネット会計 L 阿部 かな子 東京ピース LC
--	---	--	--	---	--	---	---	--	--	---	--	---

**GLT/GMT/GST/FWT/
LCIF キャンペーン 100
地区コーディネーター
地区副コーディネーター**

 GLT 地区コーディネーター L 佐久間 洋一 東京駿河台 LC

**リジョン・チェアパーソン
ゾーン・チェアパーソン**

 1Rリジョン・チェアパーソン L 橋口 啓一 東京葵 LC	 1R-1Zゾーンチェアパーソン L 徳永 武雄 東京丸の内 LC	 1R-2Zゾーンチェアパーソン L 山下 規介 東京ピース LC	 1R-3Zゾーンチェアパーソン L 福井 清太 東京葵 LC	 2Rリジョン・チェアパーソン L 小林 真理子 東京メディカル LC	 2R-1Zゾーンチェアパーソン L 岡田 康男 東京京橋八重洲 LC	 2R-2Zゾーンチェアパーソン L 目黒 義繁 東京長尾町 LC	 2R-3Zゾーンチェアパーソン L 佐原 幸雄 東京みやこ LC	 3Rリジョン・チェアパーソン L 須藤 修 東京芝 LC	 3R-1Zゾーンチェアパーソン L 外山 一宏 東京新橋 LC	 GMT 地区コーディネーター L 中村 安次 東京東鴨 LC	 GST 地区コーディネーター L 御厨 正政 東京江戸川東 LC	 FWT 地区コーディネーター L 島田 光子 東京さぎそう LC	 LCIFメンバー (00) 地区コーディネーター L 伊賀 則夫 東京葵 LC
--	---	---	---	--	---	---	---	---	--	---	---	---	--

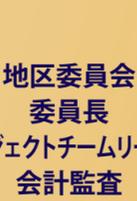
 LCIF 地区副コーディネーター L 伊賀 則夫 東京葵 LC
--

 4Rリジョン・チェアパーソン L 湯田 啓一 東京セントポール LC	 4R-1Zゾーンチェアパーソン L 山口 伸一郎 東京両国 LC	 4R-2Zゾーンチェアパーソン L 佐藤 靖 東京江東南 LC	 4R-3Zゾーンチェアパーソン L 大友 敏郎 東京セントポール LC	 5Rリジョン・チェアパーソン L 朝夷 弘一 東京綾瀬 LC	 5R-1Zゾーンチェアパーソン L 大塚 秀人 東京葛飾東 LC	 5R-2Zゾーンチェアパーソン L 井桁 秀夫 東京江戸川南 LC	 5R-3Zゾーンチェアパーソン L 橋本 初雄 東京足立中央 LC	 6Rリジョン・チェアパーソン L 菱岡 敏光 東京浅草 LC	 6R-1Zゾーンチェアパーソン L 秋月 誠 東京飛船 LC	 6R-2Zゾーンチェアパーソン L 深澤 恒夫 東京豊谷 LC	 3R-2Zゾーンチェアパーソン L 蟹江 康夫 東京麻布 LC	 3R-3Zゾーンチェアパーソン L 池田 幸司 東京神宮 LC	 GLT 地区副コーディネーター L 増田 正明 東京田無 LC	 GMT 地区副コーディネーター L 柳 秀夫 東京豊島 LC	 GST 地区副コーディネーター L 梶 正明 東京羽村 LC
--	---	--	--	---	---	---	--	---	---	--	--	--	--	---	---

 LCIF 地区副コーディネーター L 山田 春雄 東京銀座 LC

 7Rリジョン・チェアパーソン L 和崎 健治 東京練馬 LC	 7R-1Zゾーンチェアパーソン L 粟林 正次 東京荒川 LC	 7R-2Zゾーンチェアパーソン L 田中 秀樹 東京志村 LC	 7R-3Zゾーンチェアパーソン L 伊藤 弘美 東京ウィル LC	 8Rリジョン・チェアパーソン L 狹野 桂一 東京神楽坂 LC	 8R-1Zゾーンチェアパーソン L 小野 毅 東京サンシャイン LC	 8R-2Zゾーンチェアパーソン L 田口 安司 東京飯田橋 LC	 9Rリジョン・チェアパーソン L 川口 学 東京羽田 LC	 9R-1Zゾーンチェアパーソン L 市原 英毅 東京荏原 LC	 9R-2Zゾーンチェアパーソン L 水成 直也 東京ウエスト LC	 10Rリジョン・チェアパーソン L 重信 真一 東京シティ LC	 10R-1Zゾーンチェアパーソン L 森 亮介 東京渋谷 LC	 10R-2Zゾーンチェアパーソン L 田中 世根夫 東京シティ LC	 FWT 地区副コーディネーター L 小林 幸栄 東京サンシャイン LC	 LCIFメンバー (00) 地区コーディネーター L 宮本 志づ子 東京紀尾井町 LC	 LCIF 地区副コーディネーター L 山田 春雄 東京銀座 LC
---	---	---	--	---	--	---	---	---	---	--	---	--	---	---	--

 LCIF 地区副コーディネーター L 山田 春雄 東京銀座 LC
--

 11Rリジョン・チェアパーソン L 宇田川 直子 東京中野 LC	 11R-1Zゾーンチェアパーソン L 鈴木 秀彦 東京新宿北 LC	 11R-2Zゾーンチェアパーソン L 石野 泰伸 東京しいの木 LC	 11R-3Zゾーンチェアパーソン L 矢口 実 東京早稲田 LC	 12Rリジョン・チェアパーソン L 後藤 登 東京武蔵野 LC	 12R-1Zゾーンチェアパーソン L 永井 廣通 東京調布 LC	 12R-2Zゾーンチェアパーソン L 矢沢 きよみ 東京町田 LC	 13Rリジョン・チェアパーソン L 鹿野 輝明 東京立川 LC	 13R-1Zゾーンチェアパーソン L 大塚 英夫 東京横田 LC	 13R-2Zゾーンチェアパーソン L 浅野 美知郎 東京西東京 LC	 14Rリジョン・チェアパーソン L 太田 正利 東京東都 LC	 14R-1Zゾーンチェアパーソン L 岩崎 盛司 東京八王子中央 LC	 14R-2Zゾーンチェアパーソン L 唐木 敏夫 東京瑞穂 LC	 FWT 地区副コーディネーター L 小林 幸栄 東京サンシャイン LC	 LCIFメンバー (00) 地区コーディネーター L 宮本 志づ子 東京紀尾井町 LC	 LCIF 地区副コーディネーター L 山田 春雄 東京銀座 LC
--	--	---	---	--	---	---	--	---	---	--	--	---	--	--	---

**地区委員会
委員長
プロジェクトチームリーダー
会計監査**

 キャビネット運営改革室長 L 梶原 正和 東京小金井 LC
--

 キャビネット事業企画室長 L 浅井 洋一郎 東京新橋 LC	 GLT 指導力育成委員会 L 清水 峰次 東京葵 LC	 GLT 会員・会則委員会 L 知野 秀雄 東京晴海 LC	 GLT クラサケス・CQ委員会 L 関 飛雄一 東京昭島 LC	 GMT 青年アカデミー委員会 L 鈴木 順一 東京八王子陸東 LC	 GMT クラブ合併検討委員会 L 高桑 昌彦 東京政寄屋橋 LC	 GLT 職能・職域・職域別の関係 L 谷山 光俊 東京ウエスト LC	 GST 環境保全委員会 L 小方 一博 東京八王子ちよう LC	 GST 前中・前副・前幹・前副幹事委員会 L 柳井 剛嗣 東京ウエスト LC	 FWT 職能・職域・職域別の関係 L 中原 聡美 東京秋川 LC	 FWT 女性・家族会員推進委員会 L 早川 和江 東京江戸川なでしこ LC	 LCIF 委員会 L 大森 光徳 東京綾瀬 LC	 マーケティング・コミュニケーション L 吉岡 晋 東京けやき LC	 法人化推進委員会 L 池田 和司 東京桜門 LC	 GLT 職能・職域・職域別の関係 L 小林 伸光 東京吉祥寺 LC	 オンライン・ボランティア・支援委員会 L 戸部 研一 東京政寄屋橋 LC
---	--	---	--	--	---	--	--	---	---	--	---	--	---	--	---

 キャビネット副幹事 L 梶原 正和 東京小金井 LC

 薬物乱用防止委員会 L 村島 吉豊 東京新世紀 LC	 国際協働・アジア友好委員会 L 河田 弘昭 東京文化 LC	 YCE 委員会 L 三宅 泰雄 東京浜松町 LC	 アラート委員会 L 野村 起成 東京レスキュー LC	 復興支援委員会 L 徳田 修一 東京江東南 LC	 国際大会委員会 L 橋本 久美子 東京上野南 LC	 選挙管理委員会 L 橋本 光祥 東京豊新 LC	 P&M ガバナンスプロジェクトリーダー L 松浦 辰吉 東京表参道 LC	 キャビネットプロジェクトリーダー L 柳井 剛嗣 東京2020 LC	 オンライン・ボランティア・支援委員会 L 中原 聡美 東京神宮 LC	 会計監査 L 青木 秀壽 東京渋谷 LC	 会計監査 L 吉田 宗一郎 東京武蔵野 LC	 キャビネット事務局長 L 高木 千明 東京豊新 LC	 キャビネット副幹事 L 内田 嘉人 東京キング LC	 キャビネット副幹事 L 山田 諭子 東京昭島 LC	 キャビネット副幹事 L 山田 諭子 東京昭島 LC
--	--	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--

**C.A.B.
副幹事
副会計**

 キャビネット副幹事 L 山田 諭子 東京昭島 LC
--

 キャビネット副幹事 L 佐藤 靖子 東京ハッピーきもの LC	 キャビネット副幹事 L 奈月 れい 東京銀座 LC	 キャビネット副幹事 L 榎 佳生 東京麻布 LC	 キャビネット副幹事 L 関根 好恵 東京隅田川 LC	 キャビネット副幹事 L 峰村 篤 東京江戸川中央 LC	 キャビネット副幹事 L 山本 憲一 東京文化 LC	 キャビネット副幹事 L 柴田 幸太郎 東京光が丘 LC	 キャビネット副幹事 L 葛西 智子 東京神楽坂 LC	 キャビネット副幹事 L 水落 大稔 東京ウエスト LC	 キャビネット副幹事 L 飯田 容子 東京表参道 LC	 キャビネット副幹事 L 野村 瑠里 東京スバル LC	 キャビネット副幹事 L 小川 初枝 東京調布 LC	 キャビネット副幹事 L 加藤 邦広 東京横田 LC	 キャビネット副幹事 L 青山 正 東京八王子陸東 LC	 キャビネット副事務局長 L 後藤 裕文 東京法政 LC	 キャビネット副事務局長 L 平野 晋康 東京豊新 LC
--	--	---	---	--	--	---	---	--	---	---	--	--	--	--	--

 キャビネット副幹事 L 山田 諭子 東京昭島 LC
--

・アクティビティ・スローガン

「 We Serve with Love & Peace 」

・ガバナーズ・スローガン

「 団結の力で感動あるアクティビティを実現 」

・ガバナーズテーマ

「 響をつなぐ 」



東京プリンスホテルにて / L 荒牧知子・伊賀保夫ガバナー・L 大類雅之

○ガバナー公式訪問の予定

9月 4日(水) 1R	9月17日(火) 14R	9月26日(木) 13R
9月 9日(月) 6R	9月18日(水) 3R	9月30日(月) 4R
9月10日(火) 9R	9月19日(木) 8R	10月 2日(水) 7R
9月12日(木) 12R	9月24日(火) 10R	10月16日(水) 5R
9月13日(金) 11R	9月25日(水) 2R	場所についてはホームページで ご確認ください。

○11月までの主な行事予定

9月11日(水) 国際会長公式訪問 (名古屋)
11月 7日(木) 第58回 OSEAL FORUM (開催場所: 広島県 ~10日(日))
11月18日(月) 第2回キャビネット会議

○今期マーケティング・コミュニケーション・IT委員会メンバー紹介

L 吉岡 晋 委員長 けやき LC	L 茂岡幹弥 委員 白門 LC
L 大類雅之 副委員長 江戸川中央 LC	L 遠藤真太郎 委員 江戸川中央 LC
L 赤尾嘉晃 副委員長 豊新 LC	L 細田未央 委員 表参道 LC
L 津守勝男 副委員長 大森 LC	L 三代勝之 委員 スバル LC
L 桂 太郎 副委員長 世田谷 LC	L 花堂浩一 委員 中野 LC
L 坂本純一 副委員長 三鷹 LC	L 宮本和実 委員 調布 LC
L 根岸雅也 副委員長 八王子いちよう LC	L 石田 賢 委員 三鷹 LC
L 荒牧知子 委員 東京 LC	L 高田龍司 委員 秋川 LC
L 小野健志 委員 ピース LC	L 新井大介 撮影協力 新宿 LC
L 中村 攻 委員 葵 LC	L 野村瑠里 担当副幹事 スバル LC

表紙作画: L 荒牧知子